

「盲ろう者の支援について学ぶ」

開催要綱の通り美唄市の手話・要約筆記・朗読奉仕員の合同研修として開催します。当日は当事者講師（盲ろう者）をお招きし障がいの理解を深める機会といたたく聴講可としました。

広く住民の皆様にもご参加いただきたく周知させていただきます。

参加希望、お問合せは 美唄市社会福祉協議会地域福祉課土本まで

TEL 62-0770 / FAX 62-6996

Mail soumu.bibai-shakyo@pipalnet.jp

『盲ろう者』とは



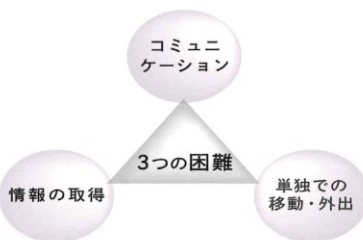
「盲ろう者」という言葉を聞いたことがありますか？目が見えなくて耳が聞こえない。目が見えにくくて耳が聞こえにくい。目と耳（視覚と聴覚）の両方に障がいを併せ持つ人たちのことを、私たちは「盲ろう者」と言います。みなさんの身近に「盲ろう者」はいませんか？

ある調査では、日本国内に推定1万4千人。北海道全体で約800人。札幌市内には150人ほどの盲ろう者がいるとされています。ですが、「盲ろう」という障がいは、まだ社会的に十分知られておらず、実態の把握が非常に難しい状況です。そのために、盲ろう者本人やご家族へ、必要な情報やサポートが届かず、不便や困難を抱えながら生活している盲ろう者が沢山いると考えられています。



『繋がること、はじめての一步』

盲ろう者は、その障がいの特性から、自分1人での外出や周囲の人とのコミュニケーション、「読む・聞く」ことで情報を得るのが難しいといった「3つの困難」を抱えています。盲ろう者が活用できる福祉制度もあります。ですが、自分で窓口へ相談に行くことも難しい盲ろう者にとって、そのような制度があること自体を知らず「必要な情報が本人の元へ届かない」というケースが多くあります。まずは、適切な情報と繋がること・知ることが、大切な第一歩であると、私たちは考えます。



NPO法人札幌盲ろう者福祉協会は、社会や家庭に孤立している盲ろう者を探すことを「掘り起こし」と呼び、「独りぼっちな盲ろう者をなくすため」の活動に取り組んでいます。

令和5年度 登録手話・要約筆記奉仕員及び朗読奉仕者合同研修開催要綱

1 趣 旨

障がい者にやさしい街づくり事業の一環として、視覚障害者・聴覚障がい者の福祉向上及び社会参加促進を目的とし、さらに美唄市登録手話・要約筆記奉仕員及び朗読奉仕者の実践力向上のため、本研修会を実施する。

2 主 催

美唄市

3 主 管

美唄市社会福祉協議会

4 期間及び日時

令和6年3月29日（金） 13：30～15：30

5 会 場

美唄市総合福祉センター 2階 会議室
(美唄市西3条南3丁目6-2)

6 対 象 者

美唄市手話奉仕員登録者 (15名)
〃 要約筆記奉仕員登録者 (7名)
朗読サークル びばい言の葉

7 内 容

講義「盲ろう者の支援について学ぶ」

8 講 師

NPO 法人 札幌盲ろう者福祉協会 副会長 須田 珠栄 様 (盲ろう当事者)
通訳介助員 同協会 事務局長 高津 様・山口 様

9 参加申込

各登録奉仕員へ案内

10 その他

・住民への周知啓発のため聴講生を認める (社協 HP で周知)